

## 平板測量（地形図原図等・地形図修正原図）精度管理表

地 区 名	縮 尺		作 業 機 関				主 任 技 術 者				点 検 者			
	1/500						印				印			
図名又は図面番号	1													
指 摘 項 目	誤 記	脱 落	誤 記	脱 落	誤 記	脱 落	誤 記	脱 落	誤 記	脱 落	誤 記	脱 落	誤 記	脱 落
境 界 等	/	/												
道 路	/	/												
道 路 施 設	/	/												
鉄 道	/	/												
鉄 道 施 設	/	/												
建 物	/	/												
建 物 付 属 構 造 物	/	/												
建 物 記 号	/	/												
公 共 施 設	/	/												
そ の 他 の 小 物 体	/	/												
水 部	0	0												
水 部 に 関 す る 構 造 物	0	0												
法 面	0	0												
構 囲	/	/												
諸 地	/	/												
場 地	/	/												
植 生	0	0												
等 高 線	/	/												
変 形 地	/	/												
基 準 点	0	0												
注 記	/	/												
接 合	/	/												
整 飾	/	/												
図 郭 ・ 方 眼 寸 法	/	/												

注1. 社内点検紙の指摘件数を該当項目に記載する。「図郭・方眼寸法」は規定寸法より0.4mm以上の差が出たものを記載する。

2. 該当項目に集計する場合は、大縮尺地形図図式の図式区分に従って記載する。
3. 着墨又はトレースのずれ、画線の太さの相違及び図式の誤りは誤記に含める。
4. 着墨又はトレースの忘れ、画線の濃度の悪いものは脱落に含める。
5. 図面に該当項目のないものは斜線で該当欄を消す。

# 平板測量（地形図原図・地形図修正原図）点検測量記録

作業名又は地区名		縮尺		作業機関		主任技術者		点検者				
		1/500				印		印				
項目	指摘	点検数	正常	誤記	脱落	項目	指摘	点検数	正常	誤記	脱落	
												境界
道路	道路記号・道幅					場地	種	類				
	形	状					位	置				
道路施設	橋・トンネル					植生	種	類				
	構造	物					形	状	3	3	0	0
	側溝・並木						種	類	1	1	0	0
鉄道	記号・軌道幅					等高線	形	状				
	形	状					数	値				
鉄道施設	橋・トンネル					変形地	形	状				
	雪覆い	等					種	類				
建物	種	類				基準点	位	置	16	16	0	0
	形	状					種	類	2	2	0	0
建物付属構造物						注記	行政名・居住地名					
建物記号	種	類					交通施設					
	位	置					建物等					
公共施設							水部等					
その他の小物の体	記念碑	等				その他						
	タック・高塔					水平位置の点検						
水部	輸送管					点検総数	0.5mm以内	0.7mm以内	0.7mm以上			
	形	状	1	1	0	0						
水部構造物	栈橋・水制・護岸		2	2	0	0	高さの点検					
	流水方向		1	1	0	0	等高線間隔	1/4以内	1/3以内	1/3以上		
	滝・水門					点検点数		1/2以上		1/2以上		
法面	人口斜面・被覆		3	3	0	0	標高点					
	方面保						等高線					
構囲	さく・へい											

注1. 点検測量は、定められた量を作業機関が自主的に行う。ただし、計画機関が場所を指定した場合は、それに従い点検地区又は箇所単位に記録を作成する。

2. 点検測量は、編集を終えた平板原図又は藍焼図若しくは出力図を用いて行う。ただし、平板原図を用いる場合は、オーバーレイに図郭線等を入れてこの上で行う。

3. 点検、照合をしたものは赤色でチェックを付す（点検総数となる）。誤記、脱落は赤で訂正・補入し、それに基づいて平板原図の訂正を行う。

4. 点検結果は、この記録に該当する項目ごとに集計し点検図と共に提出する。

5. 点検中、重要な誤りを発見したときは、監督職員の指示を受ける。

